XP Seriesの主な仕様

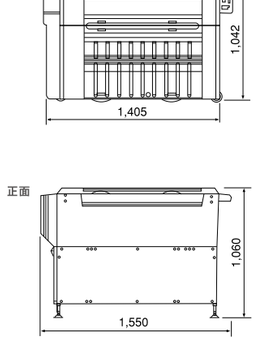
感度	120mJ/cm^2	処理液	XP-D(現像液)／XP-DR(補充液)／XP-G(ガム液)
対応光源	半導体レーザー(830nm)	網点再現性	200線　1～99%
セーフライト	白色灯下	FMスクリーニング適性	TAFFETA20(他社FMスクリーニングにも適応)

XP-940R/1310Rの主な仕様・外形図

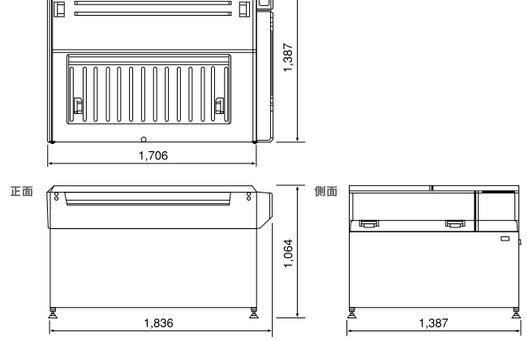
	XP-940R	XP-1310R
形式	ローラー搬送による液浸透漬方式(片面仕様)	
処理工程	[現像処理]現像→リンス→フィニッシング→乾燥	
搬送方式	ローラー搬送	
処理感材	サーマルCTPプレート[ポジタイプ]XP-F／XP-L／XP-T／XP-P	
プレートサイズ	幅:254～940mm　長さ:370～1600mm (ST940F時は1160mmまで) 厚み:0.15～0.40mm	幅:254～1310mm　長さ:370～1600mm (ST1310F時は1160mmまで) 厚み:0.15～0.40mm
薬品	現像液:XP-D／現像補充液:XP-DR／フィニッシングガム液:XP-G	
膜面通し勝手	上向き	
現像時間	12秒	
処理能力	最大76版/時 幅:800×長さ1030mmの縦通し、版間隔4秒処理時	最大105版/時 幅:800×長さ1030mmの縦通し、版間隔4秒処理時
処理速度	標準1400mm/分　Dry to Dry=42秒	標準2000mm/分　Dry to Dry=39秒
タンク容量	現像:20L リンス:4L　フィニッシングガム:4L	現像:45L リンス:9L　フィニッシングガム:9L
乾燥方式	水平搬送／温風吹き付け方式	
電源	AC200V 単相2.7kW 13.5A 50／60Hz または3相2.7kW 9A 50／60Hz	AC200V 単相4.8kW 24A 50／60Hz または3相4.8kW 16A 50／60Hz
外形寸法	1,550(幅)×1,042(奥行)×1,060(高さ)mm	1,836(幅)×1,387(奥行)×1,064(高さ)mm
重量	約300kg	約500kg
標準装備機能	母液調液機能／自動補充機能	
標準付属品	フィルター／軸受け／洗浄用具	
オプション機器	ST940F T-6000 Conveyor	ST1310F／FL T-9000 ConveyorII
オプション品	XPセンサーキット(I／Fキット)／挿入台／受台／シグナルタワー／冷却器接続キット／リエントリー機能	

※ XL-T は専用処理システムになります。(XL-1310/940)

■ XP-940R 外形図



■ XP-1310R 外形図



SCALE：1/100　単位：mm

『グリーンプリンティング(GP)』…(社)日本印刷産業連合会が「印刷サービスグリーン基準」に基づき、環境負荷低減活動に取り組む印刷事業所および製品、資機材に対して認定を行なう制度。スター数(ワンスターからスリースターまでの3段階)によって環境度が表わされます。

『カーボンフットプリント(CFP)』…温暖化ガスを抑制するため、製造から廃棄までに排出された温暖化ガスの総量をCO_2に換算して表示する制度で、現在、CFPプログラムとして正式に運用が始まっています。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。　■社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

FUJIFILM　富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

●本製品についてのお問い合わせは

本　　社	〒106-0031	東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル	03(6419)0300
大 阪 支 社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号 大阪センタービル	06(4704)8401
中 部 支 社	〒460-8404	名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル	052(201)8171
北 海 道 支 店	〒060-0042	札幌市中央区大通西六丁目1番地 富士フイルム札幌ビル	011(241)9325
東 北 支 店	〒983-0869	仙台市宮城野区鉄砲町西1番地の14 富士フイルム仙台ビル	022(292)6511
中 国 支 店	〒730-0045	広島市中区鶴見町4番22号 MKD1ビル	082(249)7155
九 州 支 店	〒812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル	092(261)7227
金 沢 営 業 所	〒920-0024	金沢市西念一丁目1番3号 コンフィデンス金沢	076(231)2511
高 松 営 業 所	〒761-8071	高松市伏石町2005番地17	087(869)8011
岡 山 営 業 所	〒700-0904	岡山市北区柳町一丁目12番1号 岡山柳町ビル	086(226)2922
沖 縄 営 業 所	〒903-0117	沖縄県中頭郡西原町字翁長834番地	098(946)9797

ホームページ　http://ffgs.fujifilm.co.jp

072 F033B1510 宣—2015・10—FA・3—1

FUJIFILM
Value from Innovation

THERMAL CTP SYSTEM

FUJIFILM
SUPERIA

THERMAL CTP SYSTEM

サーマルCTPプレート
環境対応サーマルCTPプロセサー
現像廃液削減装置

FUJIFILM SUPERIA
THERMAL CTP SYSTEM

FUJIFILM
SUPERIA

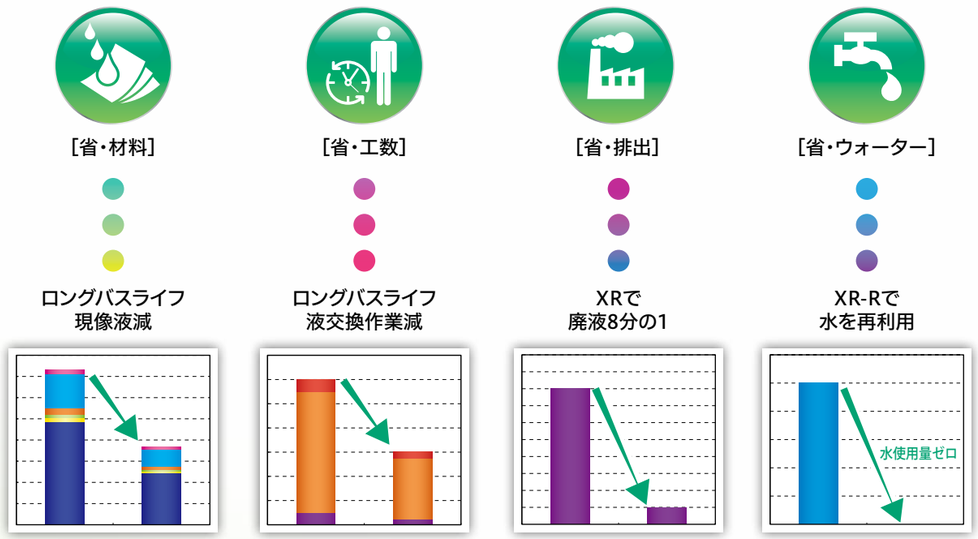
富士フイルムが考える「省資源」とは、単なる環境貢献にとどまるものではありません。
環境負荷削減と同時に、品質安定化、生産性向上、コスト削減を図り、
最終的には、企業全体の利益向上につなげていくものです。
そのために、富士フイルムが持つ多彩な製品群・品質管理技術・サポート技術などを総合的に投入し、
材料・工数・エネルギー・排出・水という5つの観点から、体系的に、徹底的にムダをなくしていく。
それが、新発想の省資源ソリューション『FUJIFILM SUPERIA』です。

有処理
サーマルCTP
システム

■サーマルCTPプレート　■環境対応サーマルCTPプロセサー　■現像廃液削減装置

階調再現・刷りやすさ・耐刷に優れたプレートと、低補充・低廃液・高安定のプロセサー、さらには画期的な現像廃液装置などの組み合わせにより、「高精細で安定した再現品質」と同時に「作業負荷・環境負荷の大幅低減」を実現。富士フイルムが刷版システム開発で長年培ってきたノウハウにより生み出される明確な「省資源効果」と、それによる経済性の高さは、他の追随を許しません。

- 超ロングバスライフで液交換頻度が大幅に減少
- 廃液量も大幅にカット
- 現像液も水洗水も減少
- 現像液感度の安定によりヤレ版を削減



FUJIFILM SUPERIA
THERMAL CTP SYSTEM

FUJIFILM SUPERIA

サーマルCTPプレート

□ XP-F □ XP-L □ XP-P □ XL-T

富士フイルムの省資源ソリューション『FUJIFILM SUPERIA』の根幹をなすのが、『XP-F』をはじめとするサーマルCTPプレートです。品質・刷りやすさ・耐刷性など、すべてにおいて完全を目指し、標準タイプから高耐刷、超高耐刷タイプまで、ラインアップも万全。環境性とクオリティを高い次元で両立したプレート性能が、印刷物の付加価値アップ、そして、印刷会社の皆さまの利益アップに大きく貢献します。

現像廃液を最大で約40%ダウンできる
高画質・高安定ハイグレードECOプレート

XP-F

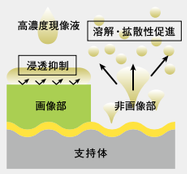
GREEN PRINTING JPPI
資機材 005-B-0001～0005

■環境性を徹底追求

『RDD(高速分散現像)技術』により、高濃度の現像補充液『XP-DR』を少量補充で処理可能。現像補充量や廃液量を最大40%も低減することができ、「目に見える効果」で、刷版工程における環境負荷軽減に貢献します。

RDD(高速分散現像)技術

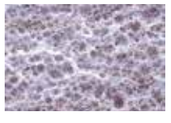
サーマルポジプレートの露光メカニズムにおいては、現像液が高濃度になるほど、非画像部(露光部)の感光層が溶解・拡散しにくくなる、という傾向があります。そこで、『XP-F』では、優れた拡散促進機能を持つ特殊な新素材を表層に添加する「RDD技術」により、非画像部の拡散性をアップ。高濃度な現像液でも速やかに安定した現像が行なえるようになり、補充量・廃液量の大幅な低減が可能になりました。



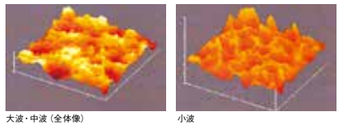
■再現性を徹底追求

支持体には、富士フイルム独自のMULTIGRAIN Ⅴ(MGV)を採用。従来のCTPプレート用マルチグレイン構造に「小波」を融合することで「水／インキバランス」をさらに高め、「中波」を大径化することにより、耐刷力と刷りやすさも大きく向上。つねに高品位な刷り上がりが得られ、卓越した階調再現性により、高精細・FMスクリーニング適性も一段とアップしています。

▼支持体拡大写真

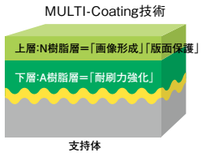


▼AFM解析による波長別鳥瞰図 (MGV砂目)



■耐キズ性を徹底追求

支持体におけるMGV技術に加え、感光層には、実績ある『MULTI-Coating技術』を投入。それぞれの役割を持ったN樹脂層・A樹脂層を最適なバランスでコーティングする、富士フイルム独自の高度な塗布技術により、両立の難しい「再現性」と「耐キズ性」を、高い次元で同時に実現しています。

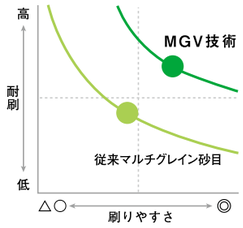


■UV印刷適性を徹底追求

2つの樹脂層を最適なバランスで重層した『MULTI-Coating技術』によって、優れたUVインキ適性・耐薬品性を実現。刷りやすさ、美しさをフルに活かし、付加価値の高いUV印刷に手軽に取り組めます。

■刷りやすさ・耐刷性を徹底追求

支持体のMGV技術、感光層のMULTI-Coating技術の相乗効果によって、刷りやすさと耐刷力を高いレベルで両立。印刷現場での安心感が違います。



■現像安定性を徹底追求

高機能現像促進層『EDL』が露光部(非画像部)の現像を効果的に促進。非露光部(画像部)の現像を抑えるための「現像抑制剤」を使用する必要がなく、現像液活性度を電導度で直接モニターし、『ZAC技術』により自動制御が可能になるため、長期にわたり安定した現像品質が得られます。

画像形成時におけるE.D.L.効果

■インキ着肉性を徹底追求

感脂化剤を加えた独自の感光層により、優れたインキ着肉性を発揮。刷り出し時間の短縮、損紙の減少によってトータルコストの削減に貢献します。

再現性の高さ、刷りやすさはXP-F譲り、耐刷力は1.5倍の
強く美しいロングランプレート

XP-L

GREEN PRINTING JPPI
資機材 005-B-0006～0008

■歴然の耐薬品性・耐刷力

砂目との密着性が高く、耐摩耗性・耐薬品性に優れた感光層を採用することで、耐薬品性・耐刷力がアップ。油性印刷・UV印刷ともに『XP-F』比約1.5倍の耐刷力を発揮します。

■安心の画像品質

砂目にはXP-Fと同様のMGV技術を採用。ロングラン印刷時にも、シャープかつ滑らかな再現が、つねに安定して得られます。また、高精細・FMスクリーニング適性も万全です。

本機と同等の高品位な網点再現が得られる
信頼の平台校正専用プレート

XP-P

GREEN PRINTING JPPI
資機材 005-B-0009

■優れたマッチング精度

XP-Fと同等の感光層を使用しているため本機と同一条件で露光でき、網点再現も本機と同等。平台校正と本機とのマッチング精度が高まることで、最終印刷物の品質が向上します。

■快適なスポンジ滑り性

実績ある平台校正用PS版『FPP』の砂目を採用。スポンジの滑りがなめらかになり、校正作業の効率化が図れます。

XP-F比約2倍の耐刷性能を誇る
超高耐刷サーマルプレート

XL-T

GREEN PRINTING JPPI
資機材 005-B-0021～0023

■圧倒的な耐刷性

新規素材の採用により、『XP-F』比約2倍の圧倒的な耐刷性と安定した仕上がり品質が得られます。バーニング処理によってさらに耐刷力を高めることも可能です。

■専用の処理システム

プレート性能を最大限に引き出すため、XL-Tには専用の処理システム・薬品を用意。XPプレート同様の現像液制御技術(ZAC)を適用し、液寿命は「3カ月または8,000㎡」というロングライフを実現。液使用量・廃液量の削減、メンテナンスの省力化に貢献します。

▶ 高信頼性を支える生産技術

富士フイルム製CTPプレートの高い信頼性を支えているのは、版材製造拠点である吉田南工場(静岡県榛原郡)の高度な生産技術。独自設計の生産プロセスと万全の品質管理体制により、つねに最高品質のCTPプレートを安定供給しています。

▶ CFP表示でCO_2削減効果を公表

製品の原材料調達から廃棄までの全工程で排出された温暖化ガスの総量をCO_2に換算して、製品パッケージやカタログなどに明記するカーボンフットプリント(CFP)。購入者に「より環境負荷の少ない製品」を選択していただくための、環境負荷の「見える化」として、各業界で普及が進んでいます。富士フイルムは、率先して印刷業界全体のCO_2削減に貢献するために、いち早く「CFP表示」を進めています。

▶ クローズドループ・リサイクル技術

クローズドループ・リサイクルで製造される富士フイルム製CTPプレートのCFPにおける環境負荷値は「8.90kg/㎡」※1。一般的なCTPプレートに比べ、明らかに低い数値です。印刷物のCO_2排出量を工程別に見ると「刷版」が占める割合は約20.2%というデータ※2があります。富士フイルム製CTPプレートを使用すれば、印刷全体の中で20%の影響を持つ刷版分野で、明確なCO_2削減が可能になります。

※1 カーボンフットプリント事業での検証データ(0.24mm厚)
※2 出典:平成20年度『デジタル印刷新時代のビジネスモデルとITネットワーク技術に関する調査報告書』(平成21年3月／社団法人 日本印刷産業連合会)

FUJIFILM SUPERIA
THERMAL CTP SYSTEM

FUJIFILM SUPERIA

XP-940R/1310R

環境対応サーマルCTPプロセサー

環境対応型サーマルプレートプロセサーの代名詞『SUPERIA XP-940R/1310R』は、なんと「母液交換サイクル＝6カ月または30,000㎡」の超ロングライフ化を実現。さらに、世界初となる「リモート診断」の提供により、メンテナンスの省力化、稼働の安定化を強力にサポート。環境性・経済性・作業性のすべてにおいて確かなメリットもたらす、新世代プロセサーの誕生です。

※ XL-T は専用処理システムになります。（XL-1310/940）

Long Life

■従来比約2倍のロングライフ化を達成

液感度の安定性を徹底的に高めるため、富士フイルム独自の「電導度補充システム」「安定分散制御（SDC）技術」を採用。さらに、現像廃液削減装置『XR-2000/5000/1200J』、再生水再利用装置『XR-R60』とを組み合わせることで、従来の約2倍（6カ月または30,000㎡※）という「処理液の大幅なロングライフ化」を実現しました。これにより、確実な「廃棄物削減・省資源化」が図れ、処理コストやランニングコストも削減できます。

※XP-1310Rの場合

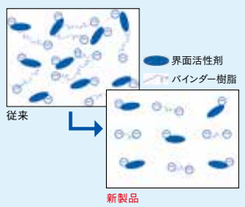
超ロングライフを支える Key Technology “ZAC”

◆電導度補充システム

「現像液の液成分情報」や「処理する版の面積情報」「運転時間情報」を基に、高度な電導度制御を行ない、機械が自動的に補充量をコントロールする、富士フイルム独自の補充方式“ZAC”を採用。処理品質を一定に保ちながら、CTPプレートに最適な液感度状態を、必要最小限の補充液量で長時間維持することができます。

◆安定分散制御（Stabilized Dispersion Control）技術

従来の現像液中の界面活性剤による分散効果に加え、バインダー樹脂自身の自己分散性を高める「安定分散制御（SDC）技術」を新たに投入。これにより、現像部の汚れや液疲労を長期にわたり抑えることが可能になりました。



水洗部

従来　XP-1310R 6ヵ月

ガム部

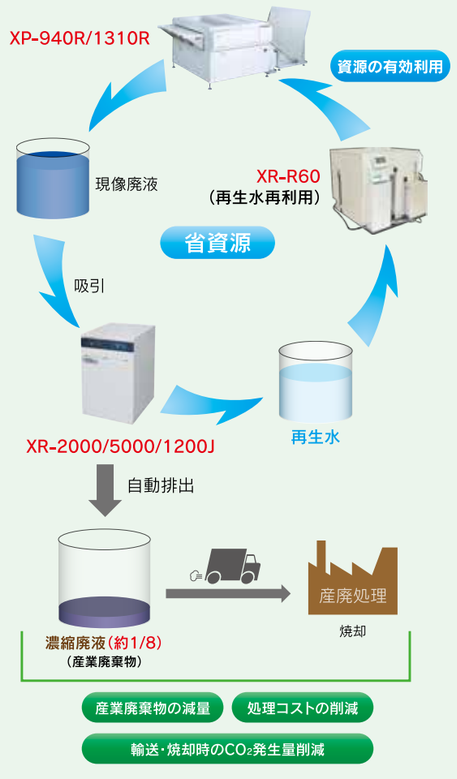
従来　XP-1310R 6ヵ月　新液

Less Waste

■確実な廃液量低減を約束

液補充量の高精度な制御や、駆動系の見直しによるフィニッシング液の固着防止といったプロセサー本体のロングライフ設計に加え、サーマルプレートや現像廃液削減装置などとの相乗効果により、廃液量を従来の「8分の1」にまで削減可能。環境負荷を世界最小レベルに抑えた、理想的な処理システムが実現します。

廃液削減・再利用の運用イメージ



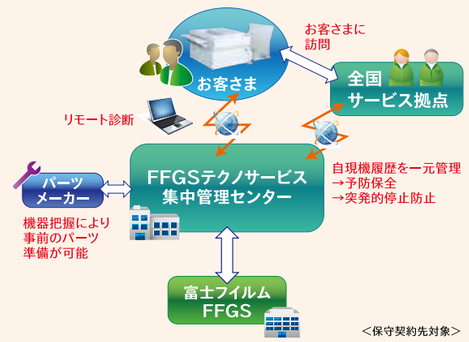
Easy Maintenance

■メンテナンス性を追求し作業負荷を軽減

機器の状態をリモートで診断し、迅速・的確なメンテナンスサポートを実現。加えて、「ロングライフ化による液交換頻度の半減」「部品点数を抑えたシンプルな内部構造」などにより、メンテナンスの作業負荷を大幅に軽減し、CTPの稼働率アップにも貢献します。

世界初・リモート診断で安定稼働を約束

プロセサーの稼働状態やエラー履歴などを、FFGSテクノサービスがリモートで把握し、必要なサポート内容を判断。その情報を基に、パーツ交換や液交換などのメンテナンスを最適なタイミングで行なえ、突発的な機器停止を未然に防ぐことができます。万一のトラブル時も、スタッフが訪問前に原因や対処方法を絞り込めるため、より迅速・的確な対応が可能になり、機械のダウンタイムを最小限に抑えられます。



＜保守契約先対象＞

現像廃液がわずか「8分の1」に！

現像廃液削減装置

XR-2000/5000/1200J

現像廃液を「蒸留再生水」と「濃縮廃液」とに分離処理し、最終的な産業廃棄物（濃縮廃液）を最大8分の1（体積比）に圧縮。産廃排出量、処理コストの両面で、明確な削減効果を発揮します。

■ 廃液処理量・コストが大幅に削減

富士フイルムサーマルCTPの現像廃液を最大8分の1（体積比）※にまで濃縮。産廃処理量・処理コストが大幅に削減できます。残りの「蒸留再生水」は、再生水再利用装置『XR-R60』により、自動現像機の希釈水として再利用することが可能です。

※従来の富士フイルム製CTPプレート『HPシリーズ』および専用現像液との比較

■ 地球温暖化防止に貢献

廃液回収頻度が大幅に減少することで、廃棄物の運搬や、最終処分（重油焼却）に伴うCO_2排出量の削減にもつながり、地球温暖化防止に貢献できます。

■ 現場環境にも配慮したエコ設計

減圧蒸留、ヒートポンプ方式の採用により、消費電力を低く抑えているほか、コンパクト設計によって省スペース化も実現。さらに、富士フイルム製消泡剤を投入することで、現像廃液の突沸を抑止し、安全かつ安定した連続稼働を可能にしました。

水使用量・排水量を削減

再生水再利用装置

XR-R60

現像廃液削減装置『XR-2000/5000/1200J』で生成される蒸留再生水を自動現像機の給水タンクに自動供給。これにより、再生水のリサイクルが可能になり、“CTP現像における究極の環境対応”が実現します。